

IV 調査票

男女共同参画に関する意識・意向調査

【調査ご協力のお願い】

日頃より、区政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

このたび、区民の皆さまが日頃、男女共同参画について、どのように感じていらっしゃるのかをお伺いし、今後の区の施策や、男女共同参画社会をめざす行動計画「アゼリプラン」の改定にあたっての基礎資料とさせていただくため、この調査を実施することといたしました。

調査の実施にあたりまして、住民基本台帳から無作為に2,000人を抽出したところ、あなた様をお願いすることになりました。

記入につきましては無記名でお願いし、調査結果は統計的な数値として取りまとめ、ご回答いただきました内容は調査目的以外には使用いたしません。プライバシーに関わる内容が公表されることは一切ございませんので、ぜひ率直なご意見をおきかせください。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年6月

北区長 花川與惣太

＜ご回答にあたってのお願い＞

ご回答は、郵送またはインターネット（電子申請）によるいずれかの方法で
7月20日（金）までに投函または送信をお願いいたします。

郵送での回答方法

- 1 調査の回答は必ずあて名のご本人さまがお答えください。
- 2 質問ごとにあてはまる回答の番号を選び、直接その番号を○で囲んでください。
- 3 質問によって、○をつける数を「1つ」「すべて」などと指定しておりますので、その範囲内でお答えください。
- 4 選択肢の中の「その他()」にあてはまる場合は、()内にできるだけ具体的にその内容を記入してください。
- 5 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や「ことわり書き」をよくお読みください。
- 6 ご記入は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
※ご記入いただきました調査票を、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにご投函ください。

インターネット（電子申請）での回答方法

パソコン、スマートフォンから回答できます。

別紙「インターネット（電子申請）で回答される方へ」をご確認ください。

【調査についてのお問い合わせ先】

北区教育委員会事務局子ども未来部男女いきいき推進課 ☎03-3913-0161（直通）

1 あなた自身について

F 1 あなたの性別をお答えください。

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

F 2 あなたの年齢はおいくつですか。（平成30年6月1日現在でお答えください。）

- | | | | |
|----------|--------|--------|----------|
| 1 10歳代 | 3 30歳代 | 5 50歳代 | 7 70歳代以上 |
| 2 20歳代以下 | 4 40歳代 | 6 60歳代 | |

F 3 あなたは、配偶者がいますか。

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

（F 3で「1 いる」と答えた方にお聞きします。）

▶ F 3-1 あなたの世帯の働き方を教えてください。あてはまる番号に1つ0をつけてください。

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1 夫・妻ともにフルタイム勤務 | 2 夫・妻ともにパート・アルバイト |
| 3 夫はフルタイム勤務、妻はパート・アルバイト | |
| 4 妻はフルタイム勤務、夫はパート・アルバイト | |
| 5 夫だけ働いている（フルタイム勤務） | 6 妻だけ働いている（フルタイム勤務） |
| 7 夫だけ働いている（パート・アルバイト） | |
| 8 妻だけ働いている（パート・アルバイト） | |
| 9 夫婦とも無職 | 10 夫婦とも自営 |
| 11 その他（ | ） |

（F 3で「2 いない」と答えた方にお聞きします。）

▶ F 3-2 次のどれにあたりますか。

- | | | |
|------|------|------|
| 1 未婚 | 2 離婚 | 3 死別 |
|------|------|------|

F 4 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。あてはまる番号に1つ0をつけてください。

- | | | |
|-------|------|--------|
| 1 いない | 3 2人 | 5 4人以上 |
| 2 1人 | 4 3人 | |

F 5 あなたの世帯構成は、次のどれにあたりますか。あてはまる番号に1つ0をつけてください。

- | | | |
|-------------------|------------------|---|
| 1 ひとり暮らし | 4 親と子ども夫婦（2世代家族） | |
| 2 夫婦のみ | 5 親と子どもと孫（3世代家族） | |
| 3 親と独身の子ども（2世代家族） | 6 その他（ | ） |

2 家庭生活について

問1 結婚や出産、男女の役割などに対する考えについて、a) から i) の項目について、選択肢1から5のうち、あなたの考え方にあてはまるものに○をつけてください（それぞれの項目について番号に1つずつ）

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
記入例 ⇒	1	②	3	4	5
a) 結婚する、しないは個人の自由である	1	2	3	4	5
b) 未婚の女性が子どもを産み育てるのもひとつの生き方だ	1	2	3	4	5
c) 「結婚しても、子どもは持たない」というのもひとつの生き方だ	1	2	3	4	5
d) 「男は仕事、女は家庭」という考え方には共感する	1	2	3	4	5
e) 女の子も、経済的に自立ができるように育てるのがよい	1	2	3	4	5
f) 男の子も、家事ができるように育てるのがよい	1	2	3	4	5
g) 男の子も女の子も同じ程度の学歴を持つ方がよい	1	2	3	4	5
h) 父親はもっと子育てに関わる方がよい	1	2	3	4	5
i) 家事は女性の仕事だから、共働きでも女性がする方がよい	1	2	3	4	5

問2 あなたのご家庭では、次にあげるa) からh) の家事は主にどなたが行っていますか。
 あてはまる選択肢の番号に1つずつ○をつけてください。

	父	母	自分	配偶者	息子の配偶者	娘の配偶者	息子	娘	一部の家族で分担・交代制	みんなで分担・交代制	サービスの利用	その他	誰もやっていない
記入例 ⇒	1	②	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
a) 食事のしたく	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
b) 食事の後片付け	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
c) 掃除	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
d) 洗濯	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
e) 日用品の買い物	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
f) ゴミ出し	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
g) 育児	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
h) 介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13

【問5・問5-1は、現在働いていない方のみお答えください。】

問5 あなたは、今までに仕事についていたことがありますか。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 仕事についていたことがある | 2 仕事についていたことはない |
|-----------------|-----------------|

問5-1 あなたが、現在働いていない理由は、次のどれにあたりますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。特に理由がない場合は1 2に○をつけてください。

- | |
|------------------------|
| 1 働かなくても経済的に困らない |
| 2 家事・育児と両立できない |
| 3 高齢者や病人の介護と両立できない |
| 4 健康に自信が持てない |
| 5 職業能力に自信が持てない |
| 6 希望や条件にあう仕事が見つからない |
| 7 趣味や社会活動など他にやりたいことがある |
| 8 家庭内の事情があるため |
| 9 高齢だから |
| 10 扶養家族の方が有利だから |
| 11 その他 () |
| 12 特に理由はない |

【ここからは全員の方にお聞きします】

問6 一般的に女性が仕事をするということについて、あなたが望ましいと思うのは次のうちどれですか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

- | |
|-----------------------------|
| 1 結婚するまでは仕事をするが、結婚後はしない |
| 2 子どもができるまでは仕事をするが、その後はしない |
| 3 子育ての時期だけ一時やめて、その後はまた仕事をする |
| 4 結婚・出産に関わらず、ずっと仕事をする |
| 5 女性は仕事に就かない方が良い |
| 6 その他 () |
| 7 わからない |

問7 仕事をやめた女性が再就職を希望する場合、どのような支援や対策が必要だと思いますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

- 1 出産・育児などで退職しても、同一企業に採用されるようにすること
- 2 求人情報を入手しやすくすること
- 3 セミナー・講習会を実施すること
- 4 技術や技能の習得の機会を多くすること
- 5 パート労働条件を向上させること
- 6 就職に対する相談体制を充実させること
- 7 保育所等の施設を整備すること
- 8 その他 ()
- 9 わからない

問8 一般的にあなたは仕事と私生活の両立について、どのように考えますか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

- 1 仕事を優先する
- 2 どちらかという仕事を優先する
- 3 仕事と私生活をバランスよく両立させる
- 4 どちらかという私生活を優先する
- 5 私生活を優先する
- 6 その他 ()
- 7 わからない

問9 介護と仕事を両立するためにはどのような支援が必要だと思いますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

- 1 介護休業制度の周知・取得
- 2 職場の理解
- 3 短時間勤務制度の活用
- 4 ワークライフバランスの推進
- 5 介護者の相談・支援の充実
- 6 介護保険サービスの周知・充実
- 7 家族の協力
- 8 その他 ()
- 9 わからない

※ワークライフバランスとは、仕事の効率・生産性を向上させながら多様な働き方を実現できる仕組みのことです。

問12 雇用分野における女性の管理職の登用など、女性の参画を促すには、どのような支援が必要だと思いますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

- 1 企業における女性の採用・登用の促進
- 2 女性の登用について具体的な目標値の設定
- 3 女性のロールモデルの発掘・活躍事例の提供
- 4 女性が働き続けていくことのできる相談体制の充実
- 5 男女共同参画に積極的に取り組む企業への支援
- 6 女性の管理職への支援
- 7 その他 ()
- 8 わからない

問13 女性も男性も働きやすい職場にしていくために、どのようなことが重要だと思いますか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

- 1 労働時間を選べるようにすること
- 2 短時間勤務や在宅勤務など多様な働き方の仕組みが整うこと
- 3 男女とも残業や休日出勤を減らすこと
- 4 男女の雇用機会や昇進、待遇の格差がなくなること
- 5 女性管理職を積極的に登用すること
- 6 社員の能力を適正に評価する仕組みが整うこと
- 7 契約・派遣社員などの労働条件が向上すること
- 8 仕事も家庭も大切にするという意識を啓発すること
- 9 その他 ()
- 10 わからない

5 介護について

問14 あなたが同居している家族（あなた自身も含みます）には、現在、介護を必要としている方がいますか。または、過去にいましたか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

- | | | |
|--------|---------|-------|
| 1 現在いる | 2 過去にいた | 3 いない |
|--------|---------|-------|

（問14で「1 現在いる」「2 過去にいた」と答えた方にお聞きします。）

問14-1 介護を必要とする（した）方からみて、介護をしている（いた）方は、どのような関係にあるかについて、1～9のあてはまる番号に1つ○をつけてください。

- | | | |
|-----|----------|----------|
| 1 夫 | 4 息子 | 7 その他の親族 |
| 2 妻 | 5 娘の配偶者 | 8 知人・友人 |
| 3 娘 | 6 息子の配偶者 | 9 その他（ ） |

問14-2 あなたご自身が高齢になり介護が必要になったときは、誰に介護をして欲しいですか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

- | | | |
|--------|-----------|-----------------|
| 1 配偶者 | 5 その他の家族 | 8 在宅介護サービスを利用する |
| 2 娘 | 6 友人・隣人 | 9 その他（ ） |
| 3 息子 | 7 施設を利用する | 10 わからない |
| 4 息子の妻 | | |

6 健康について

問15 からだの健康についてお聞きします。あなたは、最近1年間にどこかで健康診断を受けましたか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 区役所の健康診断で受けた | 4 自費で医療機関に行って受けた |
| 2 勤務先で受けた | 5 受けなかった |
| 3 通学先で受けた | 6 その他（ ） |

問16 こころの健康についてお聞きします。あなたは、日頃の生活でどの程度ストレスを感じていますか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

- | | |
|-------------|------------|
| 1 全く感じていない | 3 やや感じている |
| 2 あまり感じていない | 4 非常に感じている |

7 地域活動について

問17 あなたは、日常的にグループやサークル、団体などの自主的な活動に参加していますか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。参加していない場合は8に○をつけてください。

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1 スポーツ活動 | 5 町会・自治会活動 |
| 2 趣味的活動 | 6 PTA・子ども会活動 |
| 3 学習活動 | 7 その他 () |
| 4 ボランティア・福祉活動・NPO活動 | 8 参加していない |

(問17で「8 参加していない」と答えた方にお聞きします。)

▶ 問17-1 地域活動に参加していない理由は何ですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 家事や仕事が忙しいから | 6 参加したい活動がないから |
| 2 育児や家族の介護が忙しいから | 7 地域活動には関心がないから |
| 3 自分の健康上の理由から | 8 地域活動に関する情報が少ないから |
| 4 ひとりでは参加しにくいから | 9 その他 () |
| 5 人間関係がわずらわしいから | |

問18 男性も女性も地域活動に参加しやすくするためには、どのようなことが必要だと思えますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

- | |
|--------------------------------|
| 1 参加しやすい日時や場所を設定する |
| 2 性別により活動内容の区別をしない |
| 3 男性が地域団体の活動に関心や積極性を持つ |
| 4 女性が地域団体の活動に関心や積極性を持つ |
| 5 地域団体の取り組みの広報 |
| 6 労働時間の短縮やボランティア休暇など、就労環境を整備する |
| 7 活動拠点を充実させる |
| 8 その他 () |
| 9 わからない |

8 人権について

問19 あなたはここ1～2年の間に、職場・学校・地域で、ハラスメントを受けたこと、または、周囲の方が被害を受けたという話を聞いたことはありますか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

- 1 セクシュアル・ハラスメント（※1）を受けたことがある
- 2 マタニティ・ハラスメント（※2）を受けたことがある
- 3 パワー・ハラスメント（※3）を受けたことがある
- 4 自分は受けたことはないが、周囲に被害者がいる
- 5 自分も受けたことがないし、周囲にも被害者はいない

※1 相手の意に反する性的な言葉や行為によって、不快や不安な状態に追い込むことや、それらの言動を拒否したことで、解雇・降格・減給などの不利益を受けること

※2 妊娠や出産・育児休業などを理由に、精神的・身体的苦痛を与える言葉や行為を行うことや、雇用条件などの面で不当な扱いをすること

※3 職務上の地位や人間関係などの職場内の優位性を背景として精神的・身体的苦痛を与える、または職場環境を悪化させること

（問19で「1」から「3」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。）

▶ 問19-1 あなたはこれまでに誰かに相談しましたか。

1 相談した

2 相談しなかった（できなかった）

▶ 問19-2へ

▶ 問19-3へ

(問19-1で「1 相談した」と答えた方にお聞きします。)

問19-2 そのとき、どこ(だれ)に相談しましたか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

- | |
|-----------------------|
| 1 家族に相談した |
| 2 友人・知人に相談した |
| 3 労働基準監督署に相談した |
| 4 警察に相談した |
| 5 役所の相談窓口・電話相談などに相談した |
| 6 その他の公共機関に相談した |
| 7 その他 () |

(問19-1で「2 相談しなかった(できなかった)」と答えた方にお聞きします。)

問19-3 どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)理由は何ですか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

- | |
|------------------------------|
| 1 どこに相談してよいかわからなかったから |
| 2 恥ずかしかったから |
| 3 相談しても無駄だと思ったから |
| 4 相談することによって、不快な思いをすと思ったから |
| 5 自分さえ我慢すれば、なんとかやっていけると思ったから |
| 6 世間体が悪いから |
| 7 被害を受けたことを忘れたいから |
| 8 自分にも悪いところがあると思ったから |
| 9 相談するほどのことではないと思ったから |
| 10 その他 () |

問20 あなたは「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」(DV防止法)をご存知ですか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

- | |
|---------------------|
| 1 法律名も内容も知っている |
| 2 聞いたことがあるが、内容は知らない |
| 3 知らない |

問21 あなたは配偶者からの暴力について相談できる窓口をご存知ですか。

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

(F3で配偶者が「1.いる」、F3-2で「2.離婚」「3.死別」と答えた方にお聞きします。)

問22 あなたの配偶者から次のようなことをされたことがありますか。(それぞれの項目について番号に○を1つずつ)

	何 度 も あ る	1、 2 度 あ る	ま っ た く な い
記入例 ⇒	1	②	3
a) 殴る、蹴る、突き飛ばす、物を投げつけるなど、暴力行為を受けた	1	2	3
b) 大声でどなられる、命令される、脅されるなど、恐怖を感じる言葉を言われた	1	2	3
c) 交友関係や電話・メールなどを細かく監視された	1	2	3
d) 必要な生活費を渡されなかったり、自由なお金を使えないようにされた	1	2	3
e) いやがっているのに性的な行為を強要されたり、中絶を強要された	1	2	3
f) 自分の名誉にかかわる写真や映像をインターネットで公表された	1	2	3

※ 1つでも「何度もある」「1、2度ある」と答えた方 ⇒ 問22-1へ

※ すべてに「まったくない」と答えた方 ⇒ 問23へ

(問22で1つでも「何度もある」「1、2度ある」と答えた方にお聞きします。)

問22-1 あなたはどこ(だれ)かに打ち明けたり、相談したりしましたか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

- 1 友人・知人に相談した
- 2 家族・親せきに相談した
- 3 警察に連絡・相談した
- 4 医療関係者(医師・看護師など)に相談した
- 5 配偶者暴力相談支援センターに相談した
- 6 法務局・地方法務局・人権相談委員に相談した
- 7 北区こころと生き方・DV相談(女性相談)に相談した
- 8 北区こころと生き方・DV相談(男性相談)に相談した
- 9 DV専用ダイヤルに相談した
- 10 その他()
- 11 相談しなかった(できなかった)

(問22-1で「11 相談しなかった(できなかった)」と答えた方にお聞きします。)

問22-2 どこ(だれ)にも相談しなかった、できなかった理由は何ですか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

- 1 どこ(だれ)に相談してよいのかわからなかったから
- 2 相談するほどのことではないと思ったから
- 3 自分にも悪いところがあると思ったから
- 4 自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
- 5 相談しても無駄だと思ったから
- 6 世間体が悪いと思ったから
- 7 相手の行為は愛情の表現だと思ったから
- 8 他人を巻き込みたくなかったから
- 9 そのことについて思い出したくなかったから
- 10 誰にも知られたくなかったから
- 11 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから
- 12 相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから
- 13 配偶者に「誰にも言うな」とおどされたから
- 14 その他()

(F3 (1ページ)で配偶者が「2 いない」と答えた方にお聞きします。)

問23 あなたはここ1～2年の間に、交際相手はいましたか。

1 いた	2 いない
------	-------

(問23で「1 いた」と答えた方にお聞きします。)

→ 問23-1 あなたはここ1～2年の間に、あなたの交際相手から次のようなことをされたことがありますか。(それぞれの項目について番号に○を1つずつ)

	何 度 も あ る	1、 2 度 あ る	ま っ た く な い
記入例 ⇒	1	②	3
a) 殴る、蹴る、突き飛ばす、物を投げつけるなど、暴力行為を受けた	1	2	3
b) 大声でどなられる、命令される、脅されるなど、恐怖を感じる言葉を言われた	1	2	3
c) 交友関係や電話・メールなどを細かく監視された	1	2	3
d) いやがっているのに性的な行為を強要されたり、中絶を強要された	1	2	3
e) 別れた交際相手から自分の名誉にかかわる写真や映像をインターネットで公表された	1	2	3

※ 1つでも「何度もある」「1、2度ある」と答えた方 ⇒ 問23-2へ

※ すべてに「まったくない」と答えた方 ⇒ 問24へ

(問23-1で1つでも「何度もある」「1、2度ある」と答えた方にお聞きします。)

問23-2 あなたはどこ(だれ)かに打ち明けたり、相談したりしましたか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

- 1 友人・知人に相談した
- 2 家族や親せきに相談した
- 3 警察に連絡・相談した
- 4 医療関係者(医師・看護師など)に相談した
- 5 配偶者暴力相談支援センターに相談した
- 6 法務局・地方法務局・人権相談委員に相談した
- 7 北区こころと生き方・DV相談(女性相談)に相談した
- 8 北区こころと生き方・DV相談(男性相談)に相談した
- 9 DV専用ダイヤルに相談した
- 10 学校関係者(教員、養護教員、スクールカウンセラーなど)に相談した
- 11 その他()
- 12 相談しなかった(できなかった)

(問23-2で「12 相談しなかった(できなかった)」と答えた方にお聞きします。)

→ 問23-3 どこ(だれ)にも相談しなかった、できなかった理由は何ですか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

- 1 どこ(だれ)に相談してよいのかわからなかったから
- 2 相談するほどのことではないと思ったから
- 3 自分にも悪いところがあると思ったから
- 4 自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
- 5 相談しても無駄だと思ったから
- 6 世間体が悪いと思ったから
- 7 相手の行為は愛情の表現だと思ったから
- 8 他人を巻き込みたくなかったから
- 9 そのことについて思い出したくなかったから
- 10 誰にも知られたくなかったから
- 11 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから
- 12 相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから
- 13 交際相手に「誰にも言うな」とおどされたから
- 14 その他()

問27 あなたは、性的少数者（セクシュアル・マイノリティ、LGBT等）のことを自分や自分に関わりのある問題として、悩んだり考えたりしたことはありますか。

- 1 (自分の問題として) ある
- 2 (知人のことなど自分に関わりのある問題として) ある
- 3 ない

(問27で「1」「2」と答えた方にお聞きします。)

→ 問27-1 性的少数者の人権を守るために、どのような取り組みが必要だと思いますか<自由回答>

9 男女共同参画について

問28 北区男女共同参画行動計画「アゼリアプラン」をご存知ですか。

- 1 知っている
- 2 知らない

問29 北区では平成18年6月に北区男女共同参画条例を制定しましたが、この条例についてご存知ですか。あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

- 1 条例が制定されていることも、条例の内容についても知っている
- 2 条例が制定されていることは知っているが、条例の内容については知らない
- 3 条例が制定されていることは知らない

問30 北区男女共同参画条例に基づき、「北区苦情解決委員会」を設置していますがご存知ですか。あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

- 1 北区苦情解決委員会が設置されていることも、内容についても知っている
- 2 北区苦情解決委員会が設置されていることは知っているが、内容については知らない
- 3 北区苦情解決委員会が設置されていることは知らない

問3 1 あなた自身にとって、次のa) からe) の項目の場において、男女の地位が平等になっていると思いますか。(それぞれの項目についてあてはまる番号に○を1つずつつけて下さい)

	平等になっている	ほぼ平等になっている	あまり平等になっていない	全く平等になっていない	わからない
記入例 ⇒	1	②	3	4	5
a) 家庭生活では	1	2	3	4	5
b) 職場では	1	2	3	4	5
c) 学びの場では	1	2	3	4	5
d) 政治の場では	1	2	3	4	5
e) 地域参加の場では	1	2	3	4	5

10 スペースゆう（男女共同参画活動拠点施設）について

問3 2 スペースゆうを利用したことがありますか。

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1 利用したことがある | 3 施設があることを知らない |
| 2 知っているが利用したことがない | |

(問32で「1 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。)

→問32-1 どのような目的で利用されましたか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 男女共同参画に関する講座への参加 | 5 学習・交流のための会議室利用 |
| 2 法律相談 | 6 喫茶スペース |
| 3 ところと生き方・DV相談 | 7 その他 () |
| 4 図書コーナーの利用 | |

問33 スペースゆうで、今後どのような事業に力を入れていくとよいと思いますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。特にない場合は16に○をつけてください。

- 1 男女平等を推進するための啓発講座の開催
- 2 女性の参画や地位向上などに関する講座の開催
- 3 女性の技能・技術修得や起業を支援するための講座の開催
- 4 男性の家庭や地域への参画を支援する講座の開催
- 5 地域リーダーを育てる講座の開催
- 6 ストーカー、DV、性被害などに関する講座の開催
- 7 性的少数者（セクシュアル・マイノリティ、LGBT等）に関する講座の開催
- 8 男女平等参画に関する図書や資料の提供（資料コーナーの充実）
- 9 相談事業の充実
- 10 啓発誌の発行
- 11 団体、グループの相互交流の援助
- 12 団体、グループの自主活動支援
- 13 区民参画による講座等の事業の実施
- 14 講座の際の託児の充実
- 15 その他（）
- 16 特にない

11 自由意見

問34 北区の男女共同参画の推進施策について、ご意見・ご要望を自由にご記入ください。

アンケート調査はこれで終了です。ご協力ありがとうございました。
ご記入いただきました調査票は同封の回収用封筒に入れポストに投函してください。

男女共同参画に関する意識・意向調査

【調査ご協力のお願い】

日頃より、区政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

この調査は、区内企業の経営者等の方が、企業経営における男女共同参画について、日頃どのようにお考えになっていらっしゃるのかをお伺いし、今後の区の施策や、男女共同参画社会をめざす行動計画「アゼリアプラン」の改定にあたっての基礎資料とさせていただくため、この調査を実施することといたしました。

記入につきましては、無記名でお願いし、調査結果は統計的な数値として取りまとめ、ご回答いただきました内容は調査目的以外には使用いたしません。御社名等が出るなど、ご迷惑をおかけすることは一切ございませんので、ぜひ率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年6月

北区長 花川與惣太

ご記入にあたってのお願い

- 1 調査の回答は必ず事業所の経営者・責任者ご本人さまがお答えください。
- 2 この調査は事業所を単位として行っています。各設問については、**貴事業所に限った**お答えをご記入ください。
- 3 質問ごとにあてはまる回答の番号を選び、直接その番号を○で囲んでください。
- 4 質問によって、○をつける数を「1つ」「すべて」などと指定しておりますので、その範囲内でお答えください。
- 5 選択肢の中の「その他()」にあてはまる場合は、()内にできるだけ具体的にその内容を記入してください。
- 6 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので矢印や「ことわり書き」をよくお読みください。
- 7 特にことわりのない限り、平成30年6月1日現在でご記入ください。
- 8 ご記入は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いします。

ご記入いただきました調査票は、同封の回収用封筒（切手を貼る必要はありません）に入れ、**7月20日(金)**までにご投函ください。

【調査についてのお問い合わせ先】

北区教育委員会事務局子ども未来部男女いきいき推進課 ☎03-3913-0161（直通）

1 事業所について

F 1 業種をお答えください。

1 建設業	7 不動産業
2 製造業	8 飲食店・宿泊業
3 情報通信業	9 医療・福祉
4 運輸業	10 教育・学習サービス
5 卸売・小売業	11 サービス業
6 金融・保険業	12 その他（上記に含まれない業種）

F 2 常用従業者数をお答えください。

正社員数	男性	人	女性	人
パート従業員	男性	人	女性	人
その他（正社員・パートを除く）	男性	人	女性	人

F 3 平均年齢および、平均勤続年数をお答えください。

正社員	平均年齢	男性	歳	女性	歳
	平均勤続年数	男性	年	女性	年
非正社員	平均年齢	男性	歳	女性	歳
	平均勤続年数	男性	年	女性	年

F 4 貴事業所の性格をお答えください。

1 単独事業所	2 本社・本店	3 支社・営業所
---------	---------	----------

F 5 労働組合の有無をお答えください。

1 有	2 無
-----	-----

2 女性の登用・活躍推進について

問1 貴事業所では、役職者は何人いますか。うち女性役職者についてもお答えください。

職名	人数	うち女性
役員	人	人
部長相当職	人	人
課長相当職	人	人

※役職者には、企業の組織系列の各部署において、配下の係員を指揮・監督する役職の他、専門職、スタッフ管理職と呼ばれている役職を含みます。

※部長・課長等の役職名を採用していない場合や次長等役職欄にない職については、貴事業所の実態により、どの役職に該当するか適宜判断してください。

(問1で女性の役職者が少ない(1割未満)あるいは、全くいない役職区分が1つでもある場合にお答えください。)

問1-1 それはどのような理由からだと思いますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

- 1 必要な知識や経験、判断力等を有する女性がない
- 2 現在役職に就くための条件を満たしているものがない
- 3 役職者になるまでに退職してしまう
- 4 女性自身が役職者になることを希望しない
- 5 上司・同僚・部下になる者が女性役職者を希望しない
- 6 その他 ()

(問1で女性の役職者が少ない(1割未満)あるいは、全くいない役職区分が1つでもある場合にお答えください。)

問1-2 女性の役職者を増やすためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。特に必要と思わない場合は10に○をつけてください。

- | | | |
|----|----------------------|--|
| 1 | 産休・育休・介護休暇などの取得を促進する | |
| 2 | 昇進・昇格・人事評価を明確化する | |
| 3 | 女性社員の職域を拡大する | |
| 4 | 会社全体の意識改革を行う | |
| 5 | 女性のキャリアアップの支援をする | |
| 6 | 一定の人数や割合で女性の役職者を任用する | |
| 7 | 女性リーダーの育成を推進する | |
| 8 | 経営側が女性管理職登用の方針を明確にする | |
| 9 | その他 () | |
| 10 | 必要とは思わない | |

問2 女性従業員が活躍することで、どのような効果があると思いますか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。特に効果はないと思う場合は10に○をつけてください。

- | | | |
|----|----------------------------------|--|
| 1 | 男女を問わず優秀な人材が活躍できるようになる | |
| 2 | 企業のイメージアップにつながる | |
| 3 | 企業の生産性が向上する | |
| 4 | 女性の視点を企業が取り入れることにより、多様なニーズに応えられる | |
| 5 | 女性の声が反映されるようになり、女性の働く意欲が向上する | |
| 6 | 労働時間の短縮等、職場風土の改善で組織が活性化される | |
| 7 | 少子高齢化社会を踏まえて労働力が確保できる | |
| 8 | わからない | |
| 9 | その他 () | |
| 10 | 効果はないと思う | |

問3 貴事業所では、女性従業員の活躍を推進する上で、どのような課題がありますか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。特に課題はない場合は12に○をつけてください。

- | | |
|----|-------------------------------------------|
| 1 | 女性の勤続年数が平均的に短い |
| 2 | 育児、介護、家事等、家庭の事情で休むことが多い |
| 3 | 女性は男性に比べて仕事への取組み意識の熱意が不足しがちである |
| 4 | 業務に必要な技能・技術・知識が不足しがちである |
| 5 | 顧客や取引先の女性への信頼度が低い |
| 6 | 男性社員が多く、男性の認識・理解が不十分である |
| 7 | 時間外労働、深夜労働をさせにくい |
| 8 | 女性のための就業環境の整備にコストがかかる |
| 9 | 重量物の取り扱いや危険有害業務について、法制上の規制がある |
| 10 | 女性の活躍を推進する方法がわからない |
| 11 | その他（ ） |
| 12 | 課題は特になく、活用できている |

3 ワークライフバランスについて

問4 従業員のワークライフバランスについてどの程度関心がありますか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

- | | | | |
|---|---------------|---|-------------------------|
| 1 | 関心がある | 4 | どちらかといえば関心がない |
| 2 | どちらかといえば関心がある | 5 | 関心がない |
| 3 | どちらともいえない | 6 | ワークライフバランスということがよくわからない |

問5 貴事業所でのワークライフバランスの取り組み状況についてお聞きします。あてはまる番号にすべて○をつけてください。特に取り組んでいない場合は13に○をつけてください。

- | | | | |
|---|-----------------------|----|-------------------------------------------|
| 1 | フレックスタイム制 | 8 | 深夜労働をさせない |
| 2 | 始業、就業時刻の繰上げ、繰下げ | 9 | ボランティア休暇制度 |
| 3 | テレワーク制度 | 10 | 育児や介護を理由とした転勤の免除 |
| 4 | 長時間労働の是正 | 11 | 事業所内保育室の整備 |
| 5 | 短時間勤務制度 | 12 | その他（ ） |
| 6 | 育児・介護に関する経済的支援 | 13 | 特に取り組みは行っていない |
| 7 | 有給休暇を半日あるいは時間単位で取得できる | | |

問6 通常、企業でワークライフバランスを推進する上で一番重要なことは、あなたの考えでは何だと思いますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1 企業のトップの意識 | 5 保育園等、社会環境の整備 |
| 2 上司・同僚の理解 | 6 育児・介護休業法等、法律の知識普及 |
| 3 行政の経費援助 | 7 その他 () |
| 4 職場の両立支援制度の充実 | |

問7 貴事業所では、子育て支援制度の利用を促進するための取組を行っていますか。取り組んでいる場合、当てはまる番号にすべて○をつけてください。特に取り組んでいない場合は8に○をつけてください。

- | |
|--------------------------------------------------|
| 1 全社的に時間外労働の縮減や有給休暇の取得率向上に取り組んでいる |
| 2 育児休業中の待遇や休業後の労働条件を就業規則等で定め、従業員に明示している |
| 3 育児休業を取得した従業員が職場復帰しやすいように支援している（職場復帰プログラムの実施など） |
| 4 子育てを必要とする家族のいる従業員に対しては、配置転換にあたって配慮している |
| 5 子育てを理由に退職した従業員の再雇用制度がある |
| 6 男性にも育児休業や短時間勤務制度などを利用するよう勧めている |
| 7 その他 () |
| 8 現状では取り組んでいない |

問8 29年度中（平成29年4月1日～平成30年3月31日）で育児休業制度の取得者はいましたか。

1 取得者がいた ⇒	男 性	女 性	合 計
	人	人	人
2 取得者がいなかった			

（問8で「1 取得者がいた」と回答した場合にお答えください。）

→ 問8-1 その従業員の代替要員はどうしましたか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

- | | |
|------------------|-----------|
| 1 代替要員を採用した | 3 代替はなかった |
| 2 社内の配置転換により代替した | 4 その他 () |

問9 29年度中（平成29年4月1日～平成30年3月31日）で介護休業制度の取得者はいましたか。

1 取得者がいた ⇒

	男 性	女 性	合 計
人数	人	人	人

2 取得者がいなかった

（問9で「1 取得者がいた」と回答した場合にお答えください。）

問9-1 その従業員の代替要員はどうしましたか。あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

1 代替要員を採用した

3 代替はなかった

2 社内の配置転換により代替した

4 その他（ ）

問10 配偶者出産休暇制度はありますか。

1 制度あり ⇒（ ）日まで ※数字を記入

2 制度なし

（問10で「1 制度あり」と回答した方にお聞きします。）

問10-1 29年度中（平成29年4月1日～平成30年3月31日）で利用者はいましたか。

1 利用者がいた ⇒利用人数（ ）人 ※数字を記入

2 利用者がいなかった

問11 29年度中（平成29年4月1日～平成30年3月31日）で子の看護休暇制度の利用者はいましたか。

1 利用者がいた ⇒

	男 性	女 性	合 計
利用人数	人	人	人

2 利用者がいなかった

問12 29年度中（平成29年4月1日～平成30年3月31日）で介護休暇制度の利用者はいましたか。

1 利用者がいた ⇒

	男 性	女 性	合 計
利用人数	人	人	人

2 利用者がいなかった

4 ハラスメントへの取組について

問13 ハラスメント防止に取り組んでいますか。取り組んでいる場合、あてはまる番号すべてに○をつけてください。特に取り組んでいない場合は5に○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 セクシュアル・ハラスメント | 4 その他 () |
| 2 パワー・ハラスメント | 5 特に取り組みは行っていない |
| 3 マタニティ・ハラスメント | |

(問13で「1」から「4」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。)

→ 問13-1 ハラスメント防止の取り組み内容についてお聞きします。あてはまる番号にすべて○をつけてください。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 就業規則等に禁止を明文化 | 5 従業員等への研修・講習会等の実施 |
| 2 啓発資料の配付・掲示 | 6 実態把握調査の実施 |
| 3 相談窓口の設置 | 7 その他 () |
| 4 管理職への研修・講習会等の実施 | |

5 その他、男女共同参画について

問14 「次世代育成支援対策推進法」に規定している、一般事業主行動計画の策定についてご存知ですか。

- | | |
|---------|----------|
| 1 知っていた | 2 知らなかった |
|---------|----------|

(問14で「知っていた」と回答した方にお聞きします。)

→ 問14-1 貴事業所では一般事業主行動計画を策定されていますか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

- | | | |
|--------|-------------|-------------|
| 1 策定済み | 3 近いうちに策定予定 | 5 策定する予定はない |
| 2 策定中 | 4 検討中 | |

問15 「女性活躍推進法」に規定している、一般事業主行動計画の策定についてご存知ですか。

- | | |
|---------|----------|
| 1 知っていた | 2 知らなかった |
|---------|----------|

(問15で「知っていた」と回答した方にお聞きします。)

→ 問15-1 貴事業所では一般事業主行動計画を策定されていますか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

- | | | |
|--------|-------------|-------------|
| 1 策定済み | 3 近いうちに策定予定 | 5 策定する予定はない |
| 2 策定中 | 4 検討中 | |

問16 北区では平成18年6月に北区男女共同参画条例を制定しましたが、この条例についてご存知ですか。あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

- | |
|--------------------------------------|
| 1 条例が制定されていることも、条例の内容についても知っている |
| 2 条例が制定されていることは知っているが、条例の内容については知らない |
| 3 条例が制定されていることを知らない |

問17 北区男女共同参画条例に基づき、「北区苦情解決委員会」を設置していますが、ご存知ですか。あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

- | |
|------------------------------------------|
| 1 北区苦情解決委員会が設置されていることも、内容についても知っている |
| 2 北区苦情解決委員会が設置されていることは知っているが、内容については知らない |
| 3 北区苦情解決委員会が設置されていることを知らない |

問18 北区では仕事と生活の両立推進や男女がともに働きやすい職場環境づくりに取り組む企業をワーク・ライフ・バランス推進企業と認定し、その取り組みを応援する制度を実施しておりますが、ご存知でしたか。

- | | |
|---------|----------|
| 1 知っている | 2 知らなかった |
|---------|----------|

(問18で「1 知っている」と回答した方にお聞きします。)

→ 問18-1 今後、認定制度に応募したいと思いますか。

- | | |
|------|--------|
| 1 思う | 2 思わない |
|------|--------|

(問18-1で「2 思わない」と回答した方にお聞きします。)

→ 問18-2 認定制度に応募したいと思わない理由について、あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

- | |
|-----------------|
| 1 業務が忙しい |
| 2 メリットがない・わからない |
| 3 必要がない |
| 4 その他 () |

6 自由意見

問19 北区の男女共同参画の推進施策について、ご意見・ご要望を自由にご記入ください。

アンケート調査はこれで終了です。ご協力ありがとうございました。
ご記入いただきました調査票は同封の回収用封筒に入れポストに投函してください。

男女共同参画に関する意識・意向調査

【調査ご協力のお願い】

日頃より、区政に深いご理解とご協力をいただきまして、厚くお礼申し上げます。

本調査は、町会・自治会の会長・役員の方が町会・自治会活動における男女共同参画について、日頃どのような意識をもっていらっしゃるのかをお伺いし、今後の区の施策や、男女共同参画社会をめざす行動計画「アゼリアプラン」の改定にあたっての基礎資料とすることを目的に実施するものです。

調査対象につきましては、各町会・自治会会長及び各町会・自治会役員合わせて3名の方をお願いしております。調査結果はすべて統計的な数値として取りまとめ、ご回答いただきました内容は調査目的以外には使用いたしません。個人あるいは町会・自治会のお名前が出るなど、ご迷惑をおかけすることは一切ございませんので、ぜひ率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年6月

北区長 花川與惣太

ご記入にあたってのお願い

- 1 調査の回答は必ずご本人さまがお答えください。
- 2 質問ごとにあてはまる回答の番号を選び、直接その番号を○で囲んでください。
- 3 質問によって、○をつける数を「1つ」「すべて」などと指定しておりますので、その範囲内でお答えください。
- 4 選択肢の中の「その他()」にあてはまる場合は、()内にできるだけ具体的にその内容を記入してください。
- 5 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や「ことわり書き」をよくお読みください。
- 6 ご記入は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いします。

ご記入いただきました調査票は、同封の回収用封筒に入れ、密封して7月17日(火)までに町会・自治会ごとに取りまとめ、各地域振興室にお渡しください。

【調査についてのお問い合わせ先】

北区教育委員会事務局子ども未来部男女いきいき推進課 ☎03-3913-0161(直通)

1 あなた自身について

F 1 あなたの性別をお答えください。

1 男性	2 女性
------	------

F 2 あなたの年齢はおいくつですか。（平成30年6月1日現在でお答えください）

1 20歳代以下	3 40歳代	5 60歳代	7 80歳代以上
2 30歳代	4 50歳代	6 70歳代	

F 3 あなたの役職をお答えください。

1 会長	2 副会長	3 その他（ ）
------	-------	----------

F 4 あなたのお住まいはどちらですか。

1 王子地区	2 赤羽地区	3 滝野川地区
--------	--------	---------

【問 1～問 4 は、会長のみお答えください】

2 団体の構成について

問 1 平成30年5月1日現在、町会・自治会に加入している世帯数を教えてください。

世帯数	世帯
-----	----

問 2 副会長の男女数を教えてください。

副会長数	男性	人	女性	人	合計	人
------	----	---	----	---	----	---

問 3 役員の選出方法を教えてください。あてはまる番号に1〇をつけてください。

	投票等の選挙	持ち回り (輪番制)	話し合い	会長(または前 会長)の指名	役員内の互選	その他
記入例 ⇒	1	②	3	4	5	6
会 長	1	2	3	4	5	6
副会長	1	2	3	4	5	6

問4 役員会の構成員が各町会・自治会で異なると思いますが、役員会に参加する役員の年代別の男女数をわかる範囲で教えてください。

	20～40歳代	50～60歳代	70歳代以上
男性	名	名	名
女性	名	名	名

【ここからは全員の方にお聞きします】

問5 あなたの町会・自治会の活動及び会長や副会長等のリーダーは全般的にはどのような傾向にありますか。あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

- 1 活動・リーダーともに男性が主体である
- 2 活動は女性、リーダーは男性が主体である
- 3 活動・リーダーともに女性が主体である
- 4 活動は男性、リーダーは女性が主体である
- 5 その他 ()
- 6 わからない

(問5で「1 活動・リーダーともに男性が主体である」または「2 活動は女性、リーダーは男性が主体である」とお答えした方にお聞きします。)

→問5-1 女性のリーダーが少ない主な原因は何だと思えますか。あてはまる番号に1つ〇をつけてください。

- 1 仕事や家事、育児、介護が忙しく、地域活動に専念できないから
- 2 学校や幼稚園等で役員を行っているから
- 3 女性自身がリーダーに就きたがらないから
- 4 女性は、リーダーに向いていないと思うから
- 5 男性がリーダーを決めるから
- 6 女性が参加しづらい雰囲気だから
- 7 その他 ()
- 8 わからない

問6 女性の会長や副会長等のリーダーを増やすためには、どのような方策が必要だと思いますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

- 1 活動を女性が参加しやすい時間帯にする
- 2 男性が会長や副会長に就任するという慣習・意識を改革する
- 3 家事・育児・介護等を男性を含めた家族で分担する
- 4 介護関係の施設・介護サービスを充実する
- 5 女性が参加しやすく積極的に関わりやすい事業を実施する
- 6 その他 ()

3 男女共同参画について

※男女共同参画とは、男女の人権が平等に尊重され、性別に関わりなく、あらゆる分野で個性と能力が発揮できること、そして対等に社会的責任を果たしていくことをいいます。

問7 北区では平成18年6月に北区男女共同参画条例を制定しましたが、この条例についてご存知ですか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

- 1 条例が制定されていることも、条例の内容についても知っている
- 2 条例が制定されていることは知っているが、条例の内容については知らない
- 3 条例が制定されていることは知らない

問8 北区男女共同参画条例に基づき、「北区苦情解決委員会」を設置していますが、ご存知ですか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

- 1 北区苦情解決委員会が設置されていることも、内容についても知っている
- 2 北区苦情解決委員会が設置されていることは知っているが、内容については知らない
- 3 北区苦情解決委員会が設置されていることは知らない

問9 町会・自治会の研修や懇談会で男女共同参画について話し合いをしたことがありますか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。特に話し合いをしたことがない場合は4に○をつけてください。

- 1 男女共同参画について話し合いをしたことがある
- 2 女性の人権や、配偶者やパートナーのような親密な関係にある人からの暴力について話し合いをしたことがある
- 3 北区男女共同参画条例について話し合いをしたことがある
- 4 特に研修や懇談会で取り上げたことはない

問10 男女共同参画を推進するために、町会・自治会として既に取り組まれていることはどのようなことですか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。特に取り組みがない場合は6に○をつけてください。

- 1 男女に関わりなく、行事に参加できるように工夫する
- 2 男女に関わらず、誰でも意見が言えるようにし、よい意見は吸いあげていく
- 3 性別による役割分担を行わないようにする
- 4 役員は、男女に関わりなく適性で選ぶようにする
- 5 その他 ()
- 6 特に取り組みはない

問10-1 区では、災害時における男女共同参画の視点を踏まえた防災対策の充実を進めているところですが、あなたの町会・自治会の自主防災組織では、男女共同参画の視点を踏まえた防災対策としてどのような取り組みを行っていますか。あてはまる番号にすべて○をつけてください。特に取り組みを行っていない場合は7に○をつけてください。

- 1 女性会員を都や区主催の防災関係の研修に参加させている
- 2 自主防災組織の役員に積極的に女性を選出している
- 3 女性の視点を踏まえた防災対策について、会議等で議論している
- 4 避難所運営訓練などを性別に応じたプライバシーや男女間のニーズの違いに配慮した内容で行っている
- 5 避難所運営における役割分担について、「炊き出しや子ども・高齢者の世話は女性」など、性別によって役割を固定化しないことにしている
- 6 その他 ()
- 7 特に取り組みを行ったことはない

4 自由意見

問11 北区の男女共同参画の推進施策について、ご意見・ご要望を自由にご記入ください。

アンケート調査はこれで終了です。ご協力ありがとうございました。